

北陸地域国際物流戦略チーム H19幹事会

戦略チーム設立の背景

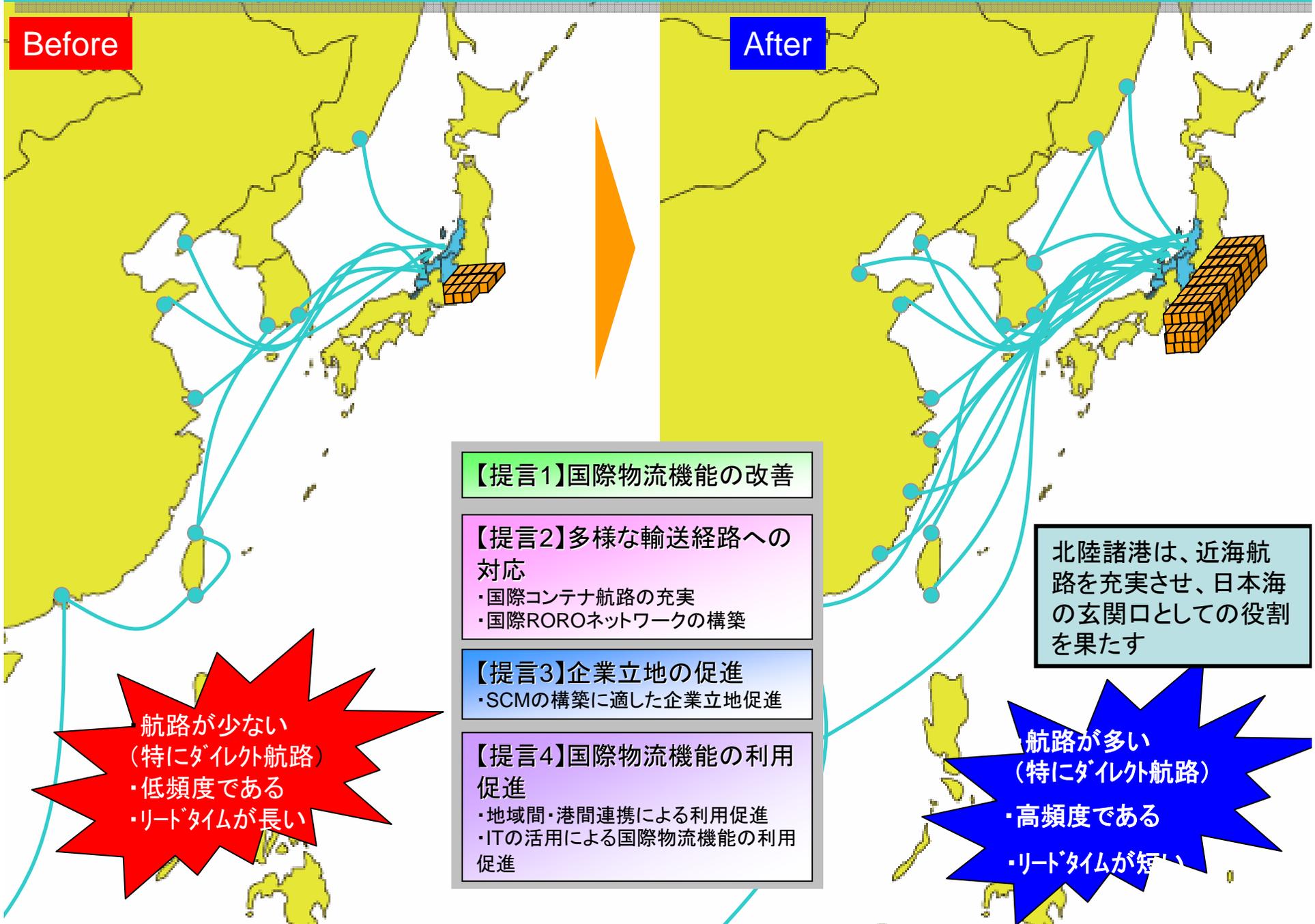
～北陸地域の物流課題～



戦略チームの目指す国際物流のあり方～海と空を活かした元気な北陸地域の創造～



提言実施後における北陸地域の国際物流のイメージ



管内港湾利用率の向上による効果(試算)

輸入(約44億円)

スーツ



に換算して、約70万着

家具



に換算して、約40万本

カラーテレビ



に換算して、約18万台

輸出(約30億円)

繊維(糸)



に換算して、約4000トン

繊維機械



に換算して、約840台

用紙



に換算して、約3万トン

資料) 2006 貿易統計より、コンテナ貨物の単価を求め、数量に換算した。

例えば3万トンの紙を輸出する場合、20ftコンテナ1,800台分の横持ち輸送および海上輸送が必要となる。

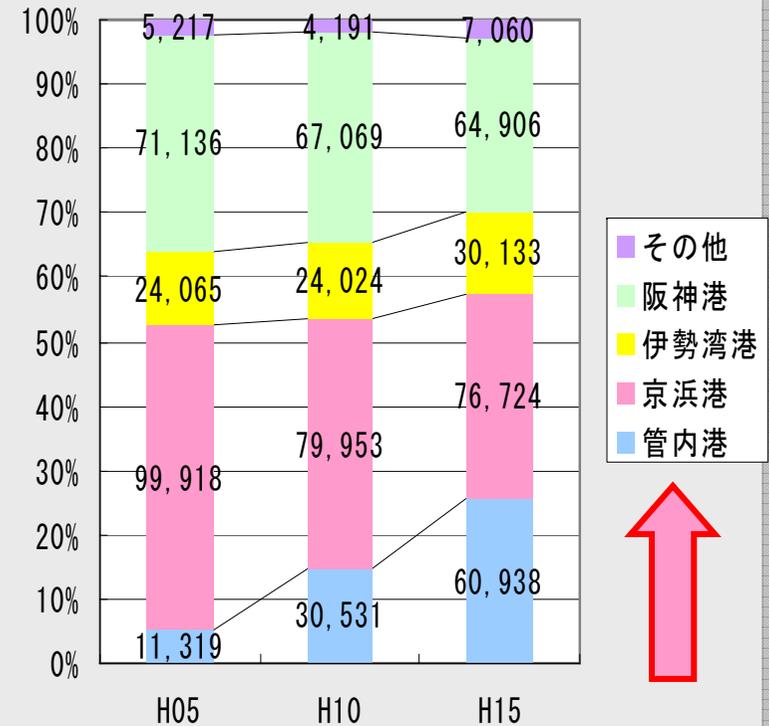


取扱量の増大

→ 地域振興

→ 航路の新設に繋がる

管内港湾利用率



利用率1%UPで
74億円の貿易額増



I 今までの経過報告

北陸地域国際物流戦略チームの概要

国際物流戦略チームの目標

(チーム構成:北陸地方整備局、北陸信越運輸局、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、など産学官60機関)

北陸地域の特性を活かした“国際物流戦略”を策定する。

・北東アジアの域内物流に対して北陸地域全体が連携して取り組み、地域の産業経済を支える。

4つの提言

- ・北陸地域国際物流機能の強化
- ・多様な輸送モードの構築
- ・企業立地促進
- ・北陸地域国際物流機能の利用促進



- 事業への反映 → 物流機能の強化 → 臨港道路、港湾機能高度化施設、多目的公共バス、静穏度確保のための外郭施設等の整備促進
- 長期計画への反映 → 北陸地域の港湾空港ビジョン等への反映

●メンバー 構成:60機関

(産)北陸経済連、商工会、港運・倉庫、陸運、トラック協会、振興協会等

(学)大学・研究機関・NPO等の経済・物流の学識経験者

(官)北陸地方整備局、北陸信越運輸局、航空局、税関、検疫(農水省、厚労省)、海上保安部、県、市等

H17.11:総合物流施策大綱(2005-2009)閣議決定

主要港湾・空港を抱える各地域毎に産学官で**国際物流戦略チーム**を設置する必要がある



「北陸地域国際物流戦略チーム」の設立
(H18.8.23)



H18.8.23 新潟市 朱鷺メッセ

シンポジウムの開催

「世界に拓いて飛躍する北陸地域のあり方みについてー地域振興に貢献する国際物流ー」

パネルディスカッション

「北陸の国際物流への期待と提言」



H19.3.10 金沢市 石川県女性センター

●北陸地域における主な検討課題

- ・物流の効率化(小口貨物の集積化など)
- ・新規航路の開設(国際フェリー・国際RORO船など)
- ・地元港湾空港の利用促進(背後圏へのPR)
- ・ワンストップ、リードタイムの短縮
- ・手続き面の簡素化
- ー他ー

最終提言のイメージ

北陸地域が首都圏・中部圏・近畿圏の対岸向け国際物流の玄関口として機能できる施策(ハード・ソフト)を提言する。

最近の国際物流の動き(戦略チームの立ち上げ効果)

北陸地域国際物流戦略チームの立ち上げによって、経済界、自治体、物流団体が港湾に対して今まで以上に注目し、具体的な港湾利用促進に向けた様々な活動を展開している。

【石川県】

- セイノーロジックス、金沢港で小口貨物混載サービス開始(2007/1)
- 日本通運、金沢市に3PLによる総合物流施設を竣工。北陸最大規模に(2007/5)
- 近鉄エクスプレス、小松空港に新拠点開設(2007/6)

- 北陸信越運輸局、日本通運金沢支店新物流センターの総合物流化計画を認定(2007/3)
- 七尾市や県などが「七尾港利用促進懇談会」を都内で開催(2007/2)

【富山県】

- 伏木富山港ポートセールス事業推進協議会、射水市と都内で利用促進セミナーを開催(2007/7)
- 南星海運、富山新港に新規寄港。韓国・華北に大型船(2007/7)
- 長錦商船、富山新港に新規寄港(2007/8)

- 富山県が3月に物流戦略策定。伏木富山港の活性化に向けて(2007/3)
- 富山県が企業誘致で攻勢。「地域産業活性化法」が誘致の柱(2007/5)
- 富山県、荷主企業に奨励金、最大50万円。伏木富山港利用を支援(2007/6)

【新潟県】

- 新潟港、釜山航路が週7便化。高麗海運が1便増便(2007/1)
- 日本海横断国際フェリー(新潟-トロイツァー東草)、3月に投資会社設立(2007/3)
- 商船三井ロジスティクス、新潟県見附市に小口貨物の物流拠点を開設(2007/4)
- リンコーコーポレーションがH20.3月を目指し新潟東港に物流拠点を増設(2007/5)

- 東京税関、新潟港の税関臨時開庁手数料を半額に(2007/5)
- 上越市や新潟県等、長野県で「直江津港利用促進懇談会」を開催(2007/6)

【福井県】

- 敦賀港貿易振興会、東京都内で「敦賀港船社懇談会」を開催(2007/2)
- 敦賀港貿易振興会、滋賀県長浜市で利用促進セミナーを開催(2007/3)
- 敦賀港貿易振興会、「敦賀港セミナー」を開催(2007/2)
- 敦賀港、釜山定期コンテナ航路が週2便に増便(2007/6)

- 福井県敦賀市、企業立地支援制度を拡充(2007/7)

【長野県】

- 日本通運長野支店、長野県に新拠点「長野ロジスティクスセンター」を竣工(2007/8)

- 北陸信越運輸局、日本通運長野支店「長野ロジスティクスセンター」の総合物流化計画を認定(2007/6)

【北陸地域全体】

- 神原汽船、中国-日本海航路、中旬から3ループに増設。新潟・金沢・小樽が増便(2007/3)
- 北経連、本年度事業「食」DBで広域観光推進(2007/6)
- 新潟港と直江津港、敦賀港、釜山航路に長錦商船が定期コンテナ航路を就航(2007/6)
- 北陸AJEC総会で「第16回北東アジア経済フォーラムイン北陸」の概要示す(2007/6)



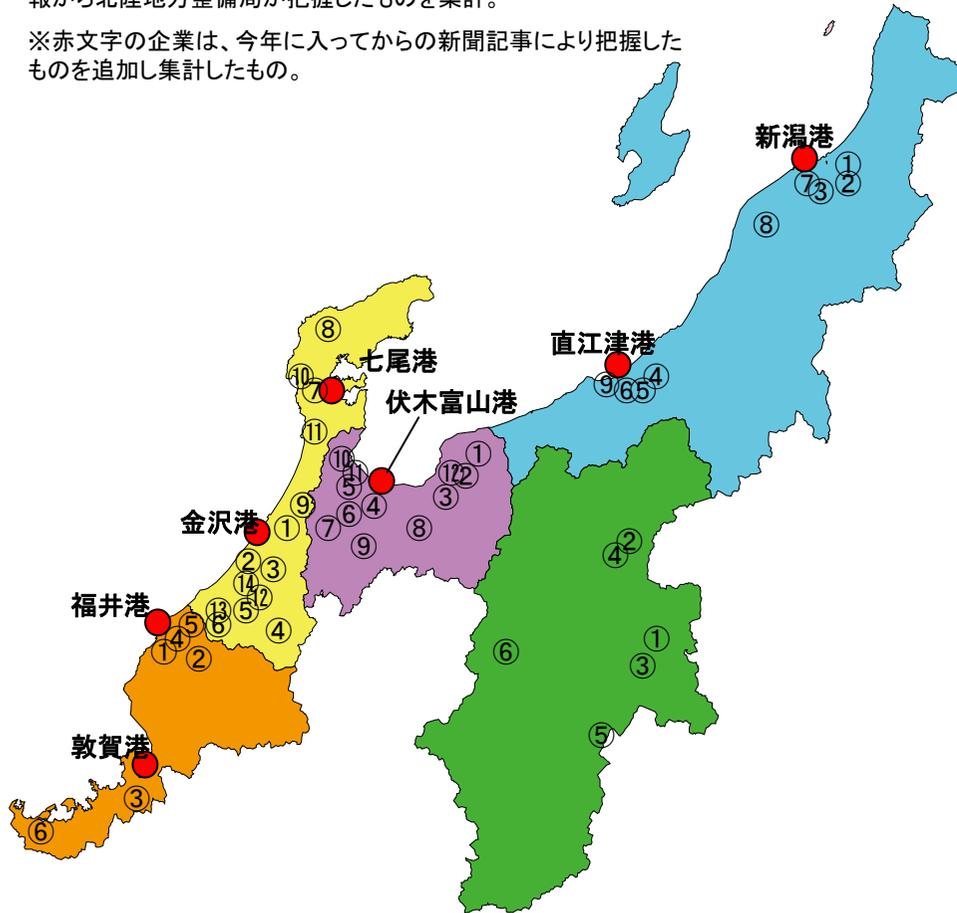
最近の進出企業

(平成19年8月調べ)

近年港湾を利用した企業の工場新設、増設の動きが活発化している

※立地状況は、昨夏以降の新聞記事情報及び企業HPによる情報から北陸地方整備局が把握したものを集計。

※赤文字の企業は、今年に入ってから新聞記事により把握したものを追加し集計したものの。



※投資額の合計は、新聞掲載情報等で明らかにされている投資額を単純に合計したものであり、実際の投資額合計とは異なる。

	企業立地状況	投資額	稼働
新潟県内	① フロンティアエネルギー新潟(新潟市) 火力発電所の建設	約130億円	2005年08月
	② 日本アクシーズ新工場(新潟市)	約19億円	2006年04月
	③ 北陸製紙 新潟工場増産(新潟市)	約550億円	2008年12月
	④ 日精樹脂工業上越工場増設(上越市)	約3.3億円	2006年10月
	⑤ キッセイ薬品工業株式会社新工場(上越市) 原薬研究製造 雇員人数35人	約35億円	2007年夏
	⑥ 新潟太陽誘電株式会社子会社設立(上越市) 電子部品	約60億円	2008年04月
	⑦ ナミックス研究開発拠点新設(新潟市) 雇用技術者4割増	約37億円	2008年07月
	⑧ 東陽理化学研究所工場増設(弥彦村)	約15億円	2007年09月
	⑨ 帝国石油株式会社貯蔵施設LNG受入基地建設(上越市) 18万klタンク×2基	-	2013年末
富山県内	① YKK AP黒部製作所	約38億円	2008年10月
	② YKK AP黒部荻生製作所 雇員人数170人	約46億円	2005年10月
	③ 松下電器新工場(魚津市)	約1.300億円	2005年10月
	④ 不二越ブローチ新工場(富山市) 自動車部品 雇員人数60人	約20億円	2005年09月
	⑤ 三協アルミ新工場建設(射水市) 形材押し出し工場	約60億円	2005年10月
	⑥ 助野靴下新工場(高岡市)	約14億円	2007年01月
	⑦ タカギセイコー新工場建設(高岡市) 車両部品関連 雇員人数200~300人	約15億円	2006年夏
	⑧ 小矢部精機増設(小矢部市) FA機器生産能力1.5倍に拡大	約3億円	2007年12月
	⑨ 日立国際電気工業増産(富山市) 半導体製造装置5割増産	約10億円	2006年11月
	⑩ 日平トヤマ新工場建設(南砺市) 工作機械工場	約12億円	2006年内
石川県内	⑪ 日本ゼオン新工場(氷見市) ゼオノフィルム	約100億円	2007年09月
	⑫ コマツキャストックス新工場(氷見市) 鋳鉄部品	約55億円	2009年12月
	⑬ シキ/ハイテック新工場(魚津市) 半導体検査装置増強 新規雇員人数35人	約5.0億円	2007年10月
	⑭ コマツ金沢新工場 産業機械関連 雇員人数70人	約70億円	2007年01月
	⑮ 高松機械工業(白山市) 本社工場3割増床 工作機械関連	約6億円	2006年01月
	⑯ 村田製作所新工場(白山市) 高周波用部品関連 雇員人数200人	約300億円	2008年春
	⑰ 中村留精密工業本社工場増設(白山市) 工作機械関連	約20億円	2007年03月
	⑱ 加賀東芝エレクトロニクス新工場(能美市) 半導体関連 雇員人数100人	約550億円	2007年夏
	⑲ ナイステック・プレジジョン新工場(加賀市)	約22億円	2007年02月
	⑳ サンケンオプト第一工場(志賀町) 半導体関連 雇員人数240人	約96億円	2006年05月
	㉑ 石川サンケン志賀工場(志賀町)・町野工場(輪島市)を中心に生産設備増設 半導体関連	約20億円	2008年03月
	㉒ アタカエンジニアリング株式会社新工場(河北郡津幡町) 新規雇員人数20人	約2億円	2006年04月
	㉓ インバック能登工場新工場(志賀町) 新規雇員人数25人	約7億円	2008年春
	㉔ 株式会社NTN羽咋製作所設立(羽咋市) ベアリング旋削加工 雇員人数15人	約13億円	2007年08月
㉕ 吉田醸造食品工場増設(白山市) 生産能力2倍に	約2億円	2008年10月	
㉖ ナイテック・プレジジョン新工場(加賀市) 生産能力約2倍に 新規雇員210人	約78億円	2008年04月	
㉗ 馬場化学工業新工場(川北町) 生産能力3倍に	約16億円	2008年01月	
福井県	① ファーストウッド新工場(福井市) 雇員人数150人	約44億円	2006年12月
	② 第一稀元素化学工業工場(福井市) 雇員人数55人	約40億円	2007年秋
	③ 巴川ファインコーティング敦賀工場 パソコン関連 雇員人数200人	約60億円	2007年04月
	④ 信越化学工業株式会社新工場(福井市・坂井市) レア・アースの分離製作 雇員人数40人	約20億円	2008年02月
	⑤ セーレン増産(坂井市) 新規事業も展開	約70億円	2008年03月
	⑥ Hitz/ハイテクノロジー(日立造船子会社)新工場(大飯郡高浜町) 鋳物業拡大	約16億円	2007年04月
長野県	① ホクト株式会社新工場(佐久市) 種菌製造及び生産	-	2008年09月
	② 岩上鋼材株式会社新工場(須坂市) 鋼材加工 雇員人数13人	約2.2億円	2007年06月
	③ スペースエナジー株式会社新工場(佐久市) 太陽電池用シリコンウエハー 雇員人数140人	約3.6億円	2008年04月
	④ 株式会社角藤新工場(須坂市) 鉄骨製品加工 新規雇員10人	約4億円	2007年04月
	⑤ 伊那食品工業研究施設新設(伊那市)	約9億円	2008年05月
	⑥ ダイナテック本社工場増設(松本市) 生産能力2倍に	約4億円	2007年度下
		約3.997億円	



Ⅱ 今年度の進め方

今年度の進め方とスケジュール

平成18年度

H18.8：第1回本部会〔新潟〕

今年度の戦略チームの進め方について提案・審議

H18.11：第1回幹事会〔新潟〕

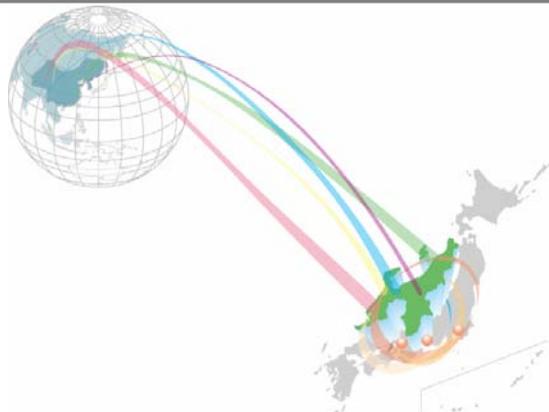
- ・現状認識と方針の確認
- ・今年度の取り組み状況
- ・第2回本部会への提案事項

H18.12：第2回本部会〔富山〕

- ・地域毎の取り組み状況報告
- ・北陸の国際物流機能の充実と利用促進方策の提案(中間提言)

H19.3：シンポジウム〔金沢〕

戦略チームの提案の検証



平成19年度

H19.8：幹事会〔新潟〕

事務局による提言素案作成＋各機関幹事に対する個別確認

H19.10：東部ブロックワーキング〔新潟〕

南東北・北関東を背後圏とする企業のシーズ・ニーズの把握

H19.10：西部ブロックワーキング〔敦賀〕

中部・近畿を背後圏とする企業のシーズ・ニーズの把握

H19.11：幹事会〔金沢〕

最終提言の確認

同日開催

H19.11：本部会〔金沢〕

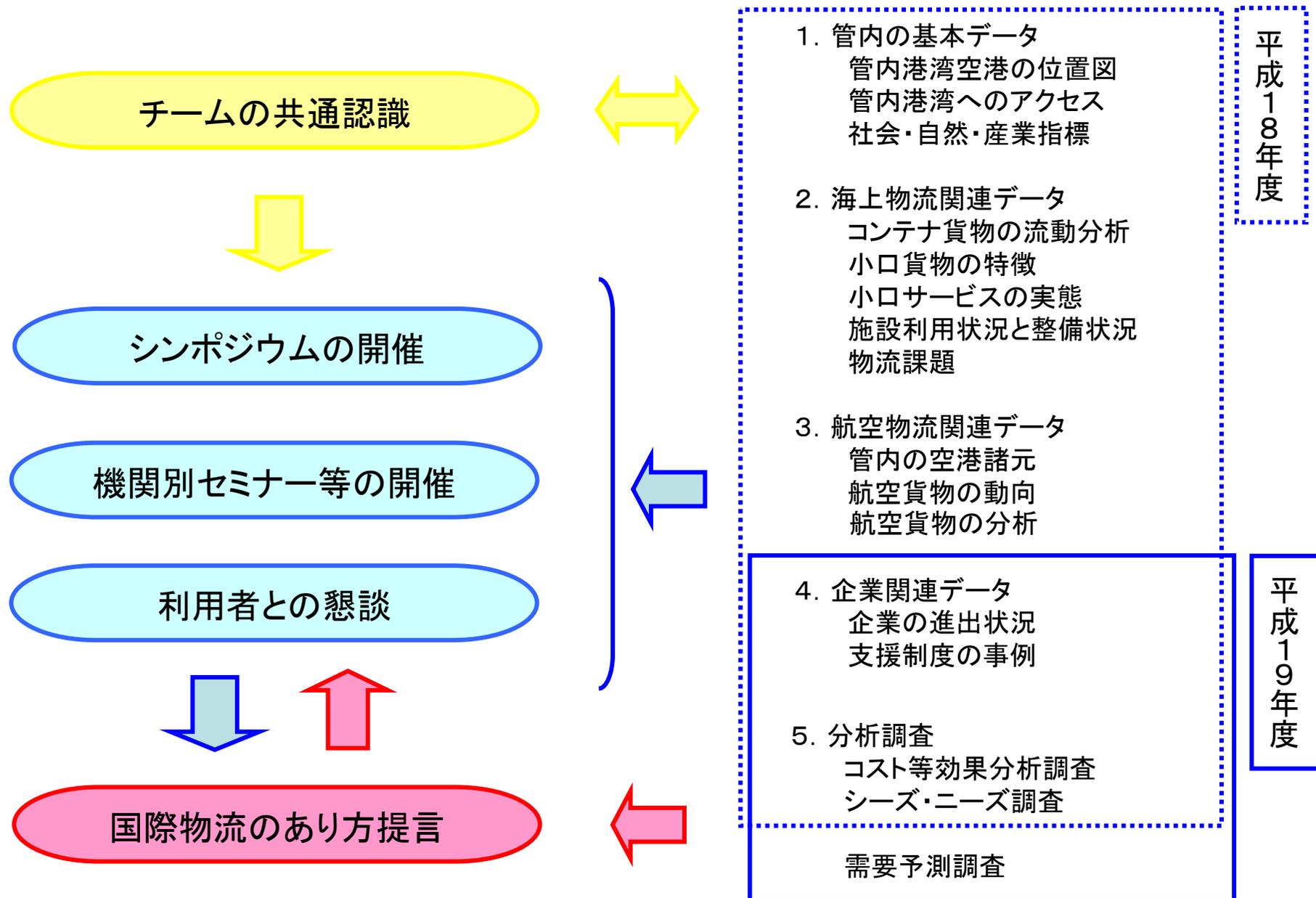
戦略チームの最終提言

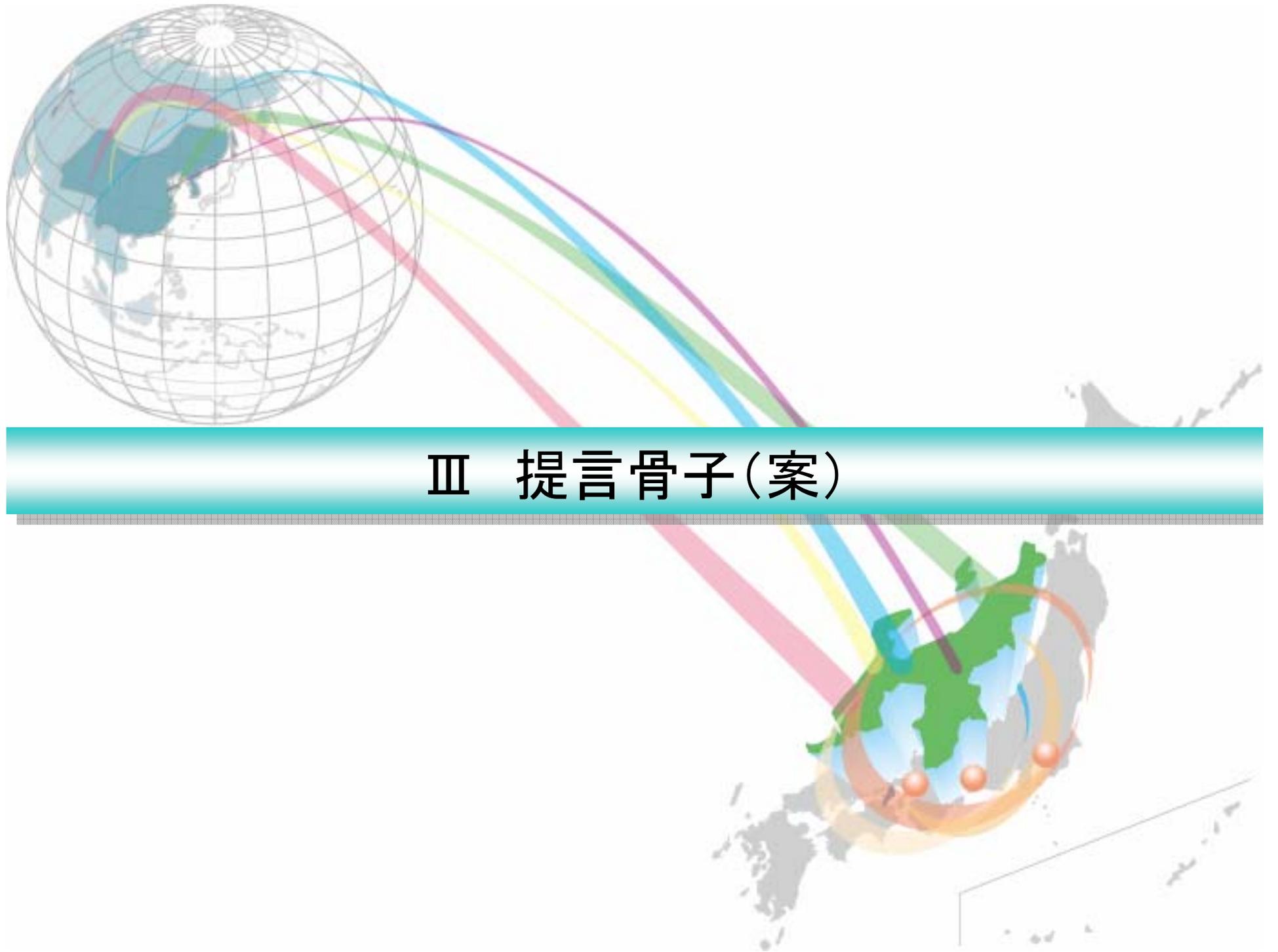
H19.12：シンポジウム〔富山〕

戦略チームの活動広報
(基調講演、パネルディスカッション)

【機関別取り組み】～実践

昨年度から実施中の調査





III 提言骨子(案)

最終提言に向けて（方針）

昨年度、北陸地域国際物流戦略チームでは、北陸地域全体の国際物流の効率化と地域の活性化等を目的として、4つの中間提言を行った。
今年度は、中間提言ごとの具体的な「現状(シーズ)の把握」と「課題(ニーズ)の抽出」、「方策及び効果」を検討し、最終提言を行うものとする。

●4つの中間提言

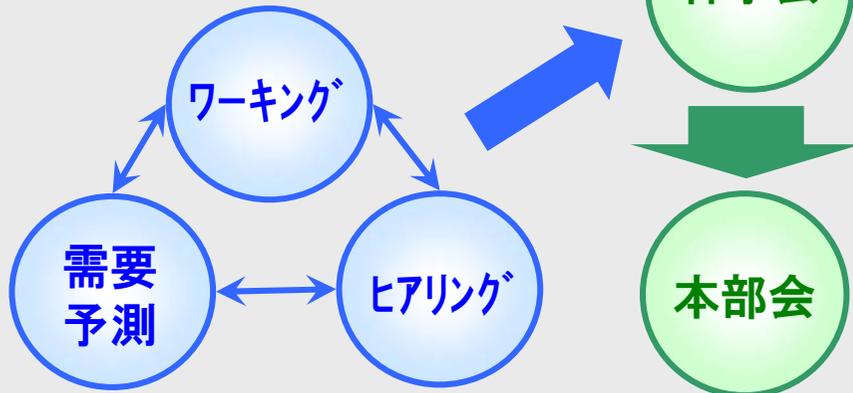
- ①北陸地域の国際物流機能の改善
- ②多様な輸送経路への対応
- ③企業の立地促進に向けた取り組み
- ④北陸地域の国際物流機能の利用促進

- (1)現状(シーズ)の把握
- (2)課題(ニーズ)の抽出
- (3)方策及び効果の検討

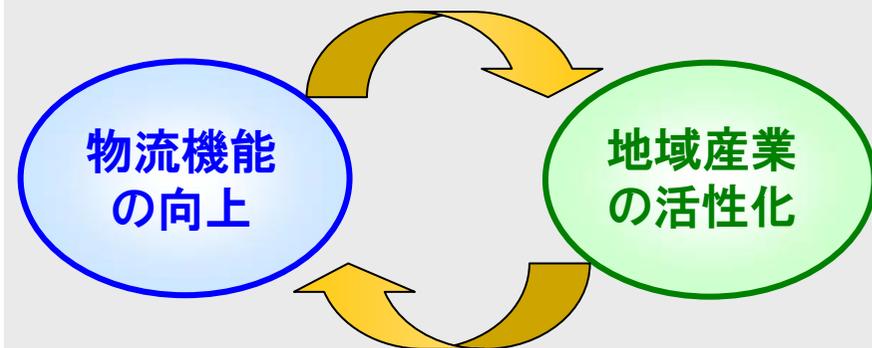
“最終提言”を行い、施策実現に向けた取組みを進める

●検討のポイント

(1) 具体の調査は、WG、ヒアリング、需要予測を中心に実施



(2) 物流機能の向上が、北陸地域の活性化に繋がるような最終提言とする



提言1-2 国際物流機能の改善(定時性の確保)

②北陸の厳しい自然条件に負けない国際物流機能の改善

→国際物流機能の改善により、効率的な輸送体系を構築する。

●ヒアリング調査から挙げられた意見(一部抜粋)

- ・港内の静穏性が悪いので荷役障害が発生している
- ・降雪時の除雪でアクセス道路が狭くなる
- ・コンテナ上部とコンテナ間の除雪に苦慮している

需要予測と利用者ニーズに基づく施設計画(事例)

- ・伏木富山港 伏木地区
防波堤整備促進

●防波堤整備中の港湾

- ・新潟港 直江津港
- ・伏木富山港 金沢港
- ・敦賀港

静穏度の確保

●防波堤の整備

緊急時など「急ぐ貨物」
などは航空を利用

通常の輸送は港湾を利用

●臨港道路の整備

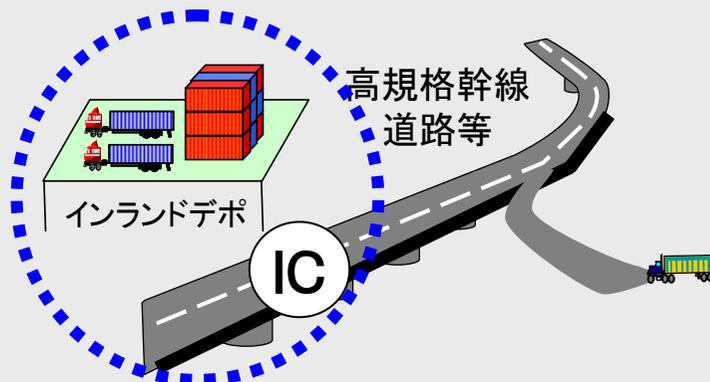
提言1-3 国際物流機能の改善(物流の効率化)

③効率的な集荷・集配を可能にする高機能物流センターの整備

→港湾空港背後へ効率的な集荷・配送を可能とする高機能物流支援センターを構築する。

●ヒアリング調査から挙げられた意見(一部抜粋)

- ・敷地が狭隘なため在庫を抱えたくない。
- ・小口貨物でも顧客の求める納期に間に合わせたい。
- ・不定形の貨物を梱包してくれるサービスがあれば利用したい。
- ・成田空港から輸出する場合、空港内よりも空港外での通関が多いため不便。



需要予測と利用者ニーズに基づく
施設計画(事例)
・内陸部へのインランドデポ配置



航空貨物の効率化

【現状】



(※) 空港内で個別に輸出貨物の通関、梱包が必要となり、効率的な作業が出来ないため、コストが高く、かつ納期に遅れる場合がある。

【今後】



(※) 物流センター内で集荷・通関・梱包出来るため、空港まで大型車による定期配送が可能となり、予定どおり納品できる。

提言2 多様な輸送経路への対応

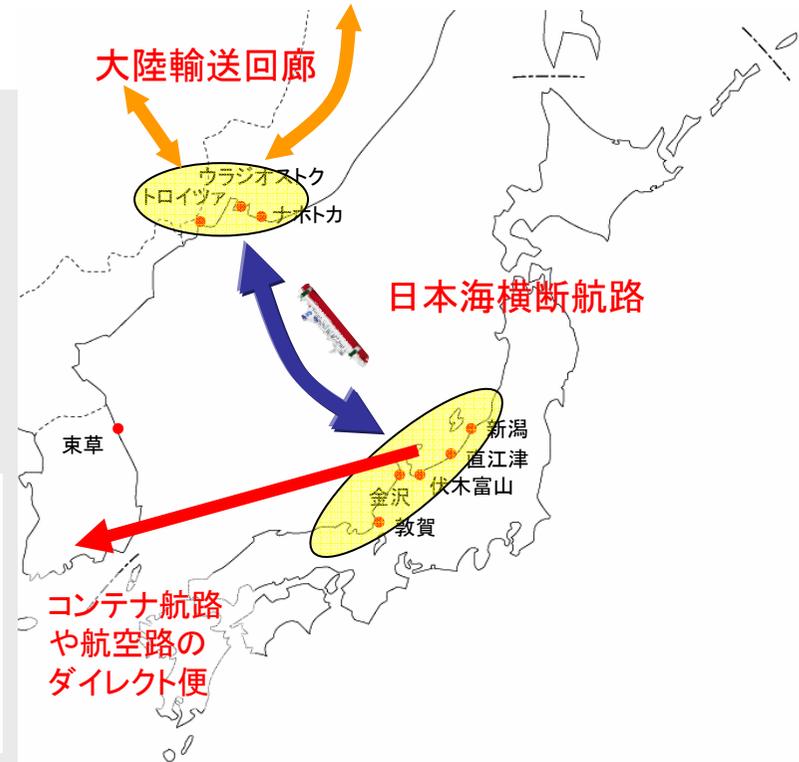
■解決の方策(案)

北東アジアとの多様な輸送モードの構築

- ①東アジア諸国との国際コンテナネットワークの構築
- ②地中海交易をイメージした国際フェリー、RORO輸送ネットワークの構築
- ③航空輸送路の拡大

●ヒアリング調査から挙げられた意見(一部抜粋)

- ・配船頻度が少ないため顧客の納期に応じられない
- ・内陸移動(横持ち)を極力少なくしてコストを下げたい
- ・在庫を抱えたくないので小ロット混載サービスを望む
- ・突然航路がなくならないよう、安定したサービスを望む



西日本主要港、中国東北部、韓国との国際フェリー航路が多数就航しているが日本海を横断する航路まだまだ少ない。



需要予測と利用者ニーズに基づく施設計画(事例)

・国際フェリー・RORO一貫輸送に対応したターミナル整備の要請



新潟港、伏木富山港
金沢港、敦賀港

提言3 企業の立地促進に向けた取り組み

①SCMの構築に適した北陸地域への企業立地の促進

→貨物の保管に加えて、流通加工、検査・検品を行える(仮称)高度ロジスティクス支援センターの設置

●ヒアリング調査から挙げられた意見(一部抜粋)

- ・輸送コスト低減のため港湾近傍に立地したい
- ・輸入貨物の流通加工を臨海部の倉庫で行いたい
- ・中国ではできない製品の検査・検品業務が増えている
- ・工場倉庫を補完するための一時利用倉庫がほしい

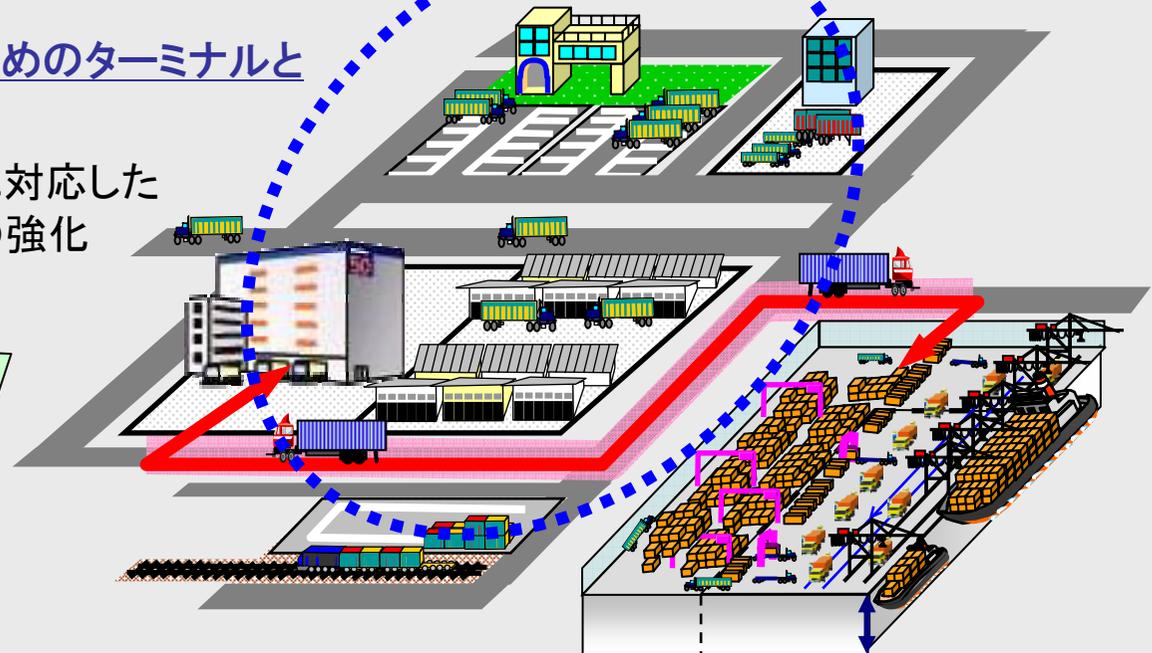
貨物が単に地域を通過するだけではなく、地域の雇用にも役立つ

②効率的な企業活動を支援するためのターミナルとその近接地の一体的な利用

→臨海部への企業の進出意欲に対応した用地の提供、貨物取扱機能の強化

需要予測と利用者ニーズに基づく施設計画(事例)

- ・高度ロジスティクス支援センターの配置
- ・企業活動に対応した用地臨港道路の整備・提供



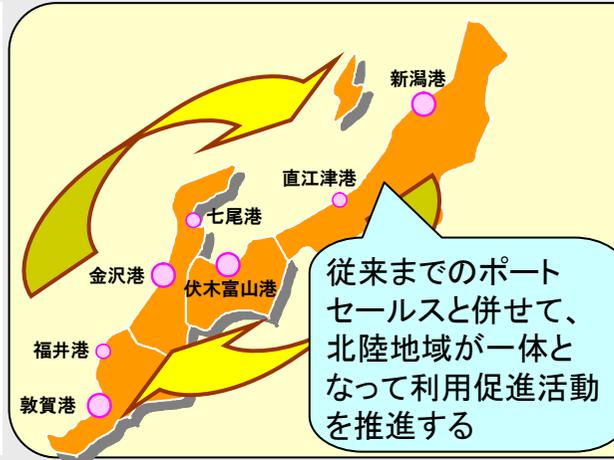
提言4 北陸地域の国際物流機能の利用促進

①地域間・港間連携による国際物流機能の利用促進活動の推進

→地域間・港間で連携し、北陸地域が一体となったポートセールス活動を推進する。

●ヒアリング調査での意見(一部抜粋)

- ・北陸諸港の海外での知名度を上げるようなPRをしてほしい。
- ・地元港と他港を利用したときのトータルコスト・リードタイムでのメリットをPRしてほしい。
- ・北陸地域の小口デポの利用を促進するようなPRをしてほしい。



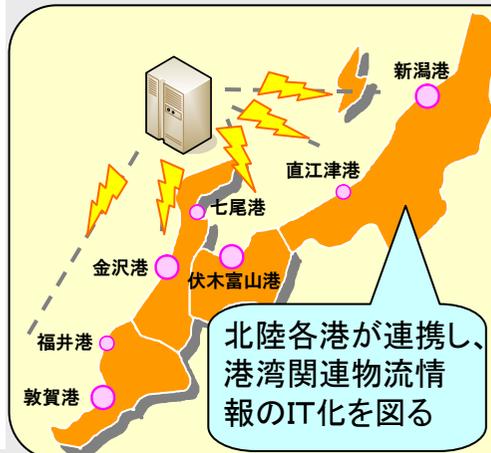
北陸地域国際物流戦略チーム
シンポジウム (H19.3、金沢市)

②ITを活用した国際物流機能の利用促進

→ITを活用し、物流情報、入出港手続き等の情報化を進める。

●ヒアリング調査での意見(一部抜粋)

- ・各船社の運航状況がリアルタイムかつワンストップで見られるようにしてほしい。
- ・空コンテナの保管状況が分かる情報がほしい。
- ・各港の天候などがリアルタイムでビジュアルで見たい。



IT端末を活用した
情報提供画面例



新潟東港コンテナターミナルコントロールセンターHP